

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～20℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり104kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり6.4トンの水揚げで、前週の75%（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり130kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり394kgの水揚げで、前週の51%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり28kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり353kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり66kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり46kgの水揚げで、前週の36%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/19～3/24の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）4日延8隻、総計1,161箱、1航海最高484箱、平均145.1箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-9号 令和2年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>